

## カキツバタ保全活動に取り組んでいます！

SS部では、平成26年度から、刈谷市井ヶ谷町の小堤西池に自生する国の天然記念物「カキツバタ群落」の保全研究に参加しています。小堤西池は、京都や鳥取と並ぶ日本三大カキツバタ自生地として多くに人から愛されていますが、近年、花が小さくなったり、数が減ってきていたりしているなどの問題が指摘されています。

そこで、危機的状況にある地域の宝を守るため、愛知教育大学理科教育講座教授 渡邊幹男先生の助言を受けながらSSHの立場から専門的な研究に取り組む活動を開始しました。



フィールドワークやカキツバタの葉の遺伝子解析などで問題点を見つけ出し、さまざまな実験や研究をとおして解決策を探り当てていきます。まとめた保全方策を地域へ発信して、地元の保全活動に役立ててもらおうと同時に、SS部の継続研究としてますます精度を高めていきたいと考えています。

